

私たちは市民が助け合い安心して暮らせる社会をめざしています

たすけあい通信



令和4年・冬号
通算100号

認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク ☎078-843-4029/843-4446 (FAX)842-2907



子どもの居場所 わいわい広場

毎日学校が終わると、子どもたちはランドセルを背負ってわいわい広場にやってきます。まず、事務局で名前を書いてから、2階のわいわい広場に入り「しゅくだいプラス」「こどもカルチャー」が始まるまで、本を読んだり、友達と遊んだり自由に過ごしています。夕方、お母さんがお迎えに来るまで待っている子もいます。事務局スタッフは子どもたちに「おかえり」「さようなら」と声かけしながら、さりげない見守りとコミュニケーションを心がけています。

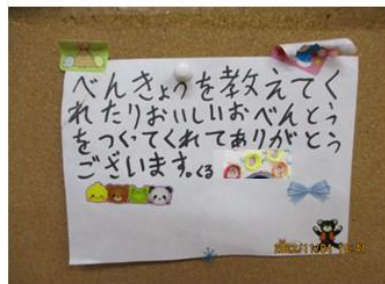
フードパントリー

物価高騰が続く中、一人親世帯をはじめとする地域の子育て家庭150世帯に2回、食糧品と日用品の詰め合わせをプレゼントしました。



しんぐるまざーず・ふぉーらむの助成金で実施

未来子どもの応援



学習支援・しゅくだいプラスと子ども食堂（夏休みは週4日）



神戸市子どもの居場所づくり補助金により実施



地域の大人と交流する活動

子どもの孤立化を防ぐために、地域の大人とふれあいながら、料理教室・木工教室などモノづくりを楽しみました。



子どもの未来応援基金により実施

講演会の報告

見えない子どもの貧困と地域共生社会の実現

10月9日、NPO法人むすびえ理事長湯浅誠さんをお招きし、講演会を開きました。

講演では子どもの状況を信号に例え、青信号の子を集めていたら黄信号の子がやって来る。子ども食堂や居場所の役割は、赤信号の手前の黄信号のうちに、課題のある子に気づくこと、という話が印象的でした。

アンケート回収率も80%と高く、助け合いネットには「地域一体となった支援」を期待されていることがわかりました。参加者は60代・70代が大半を占め、地域住民だけでなく、兵庫県全域・和歌山・京都など遠方からもお越しいただき、子ども食堂や子どもの問題に取り組むみなさまと活動の意義を共有できました。

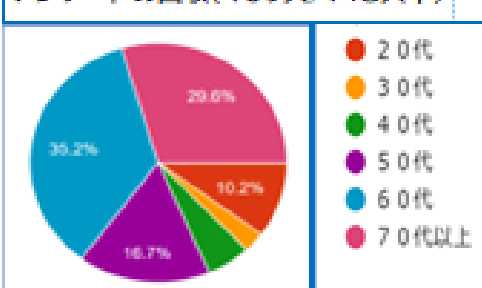
自由記述の一部ご紹介

- ”青信号”の場所の方が行きやすいと聞き、対象者を絞りすぎない支援の大切さを学びました。
- 子ども食堂は子どもだけでなく、様々な世代が集まって、地域の「居場所」になるとわかりました。
- 地域団体等のつながりを持つことでセーフティネットを広げていくことが大切とわかりました。
- 子どもだけでなく、高齢になっても黄信号、赤信号にならぬように過ごしたいと思いました。

子どもの貧困で当法人に期待したいこと



アンケートの回収(109人/148人中)



子どもの未来応援

あなたによりそう

こどもと親の相談受付中



♥保護者様へ

お子さんの事で気になる事はありますか。子どもの成長、学校の勉強や放課後の居場所、子ども食堂や食糧支援、生活支援など。

♥住まい探しに悩んでいませんか

家賃を下げたい、離婚を考えている、緊急連絡先がない方など、一緒に住まいをお探しします。

♥子どもさんへ(小学生~18歳まで)

がっこうのこと、ともだちのこと、かぞくのことなど、なやみがあれば、おとなに、はなしをしませんか。

♥内容により関係者や専門職とつながり一緒に考えます。

♥まずはお電話・メールでご連絡ください。

月・火・木・金・土
10:00~17:00

子どもの未来応援基金により実施しています

住民どうして助け合いながら暮らす地域をめざす

2022年5月、神戸市企画調整局より「地域課題に取り組むNPO等に対する補助金」の公募があり、助け合いネットは介護保険制度ではできない生活支援「暮らしのお手伝い」の申請をし、採択されました。【金額40万円】

助け合いネットのこれまでの生活支援の経緯

1995年	被災者の心のケア・生活支援など行政のできないことを無償で行って来ました。
2000年	介護保険制度がスタートし、「生活支援の役割は終わる」と思っていました。
2001年	ところが介護中の家族から「生活支援をやめないで、介護保険ではできないことを助けて」と言われ、制度の谷間のニーズを調べました。
2003年	その後、地域住民が自分の経験や特技を生かし、できる人ができることで助け合う活動が有償で始まりました。
2008年	「ひよごん福祉ネット」が誕生。発足に当たり、2006年秋から福祉系NPO等が集まり、知多半島の先進事例から学び、神戸でネットワークづくりを進めてきました。
2018年	介護保険制度改正で要支援者のサービスの一部が市町村の独自事業に移行するに伴い、助け合いネットは、住民主体訪問サービスに移入しました。

介護保険制度が3年毎に見直される中で、私たちは一貫して、利用者に寄り添い、助け合い活動で制度の隙間を埋めてきました。

「暮らしのお手伝い」は地域に暮らす誰もが選択できるサービスです。住民のニーズに応じていくうちに、対象も子ども・障がい者などに広がりました。できない事は、関係機関や専門職等と連携して、解決に向けて取り組んでいます。また2019年より居住支援法人となり、住宅確保要配慮者の家探しも始めました。

地域の中で助け合いネットが担う福祉活動



助け合いネットの家賃、年間いくら？

活動を継続するために毎年支払う家賃、いくらかご存じですか？答えは**698万円！**

じつに事業費全体(6366万円)の1割以上を占めています。

助け合いネットの自主事業は、お困りの方に寄り添うため、お金儲けは二の次。そのため、お財布事情はいつも厳しく、家賃の支払いに苦しんでいる現状です。

そんな中、不用品のご寄付で支えられる、たすけあいショップの収益から、昨年は**203万円**を家賃に充て、残り**109万円**を「わいわい広場」や情報発信の費用に活用させていただきました。みなさま、ありがとうございました。

今後とも、ご家庭の不用品の寄付で、助け合いネットの福祉活動を応援してください！



たすけあいショップ

会員となってお支え下さい

◆私たちは、助け合い活動を通じて、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりをめざしています。活動の趣旨にご賛同いただき、ご利用会員やご家族様、資金面でのご支援をお願いします。

◆事務局に直接お持ち下さい。又は郵便局から下記にお振込みをお願いします。

●正会員	個人	年間5,000円
●賛助会員	個人	年間3,000円
●賛助会員	団体	年間10,000円
●子ども未来寄付	1000円以上でお願いします	
●助け合い寄付		
◆振込先	郵便局	
◆振替口座	01140-9-88648	
◆名 称	東遼地域助け合いネットワーク	

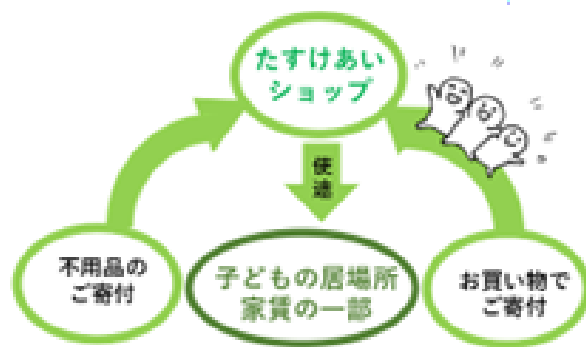
【正会員】 指染の意思決定の議決権を持つ会員

【賛助会員】 資金面で支援していただく会員

【子ども未来寄付】 子どもの成長を応援します

【助け合い寄付】 法人の自主事業に充当します

不用品の寄付で応援して下さい



寄付の方法

- 直接、ショップにご持参ください。
[水・日・祝休み]
- こんな物、とうかなと迷われた時は！
[078-843-4029] info@hmv.or.jp
- 大量の場合は車で引き取りに伺います。
[滝・東滝]
- 遠方の方は宅急便でお届けください。
[送料はご負担ください]

たすけあいショップ 改修しました

- このたび、(公財)コープともしびボランティア振興財団地域課題解決事業「やさしさ」がとうひょうプロジェクト」助成金をいただき、たすけあいショップのリニューアルを行いました。
- 主なリニューアル内容
 - ・床カーペット張替・天井と壁面のクロス張替
 - ・照明器具交換・更衣室改修・その他

〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6-15-17
 TEL：078-843-4029 FAX：078-842-2907
 午前10時～午後6時(日・水 休み)
 (URL) <https://hn-tasukeai.net>
 (Mail) info@hmv.or.jp
 発行責任者：村山メイ子

